

読書をするということ

皆さんは「読書」に対してどのようなイメージを持っているでしょうか。よく「読書は重要だ」という話を聞いてはいるものの、「読書をして何が良くなるのか？」という問いへの答えが出されていないケースもあります。

今年のLib.トーク第3弾は内田樹先生をお招きし、「読書をする」ということがこれから皆さんが生きていくうえでどのような意義を持ち、どのような気づきを与えてくれるかについてご講演いただきます。

講師

内田 樹 先生 (神戸女学院大学名誉教授)



講師プロフィール

内田 樹 うちだ たつる
1950年東京都生まれ。凱風館館長。
神戸女学院大学名誉教授。京都精華大学
客員教授。昭和大学理事。
主著に『ためらいの倫理学』、『レヴィ
ナスと愛の現象学』、『先生はえらい』
など。
第六回小林秀雄賞、2010年新書大賞、
2011年度第三回伊丹十三賞を受賞。
近刊に『そのうち何とかなるだろう』
『生きづらさについて考える』ほか。

日時

12月12日 (木) 17:00~18:30
(16:30開場)

会場

図書館1階 ナレッジコモンズ (図書館ホール)

対象

学生・教職員・一般

定員

150名・申込不要 (入場無料)